

2024年度 2月1日

思考表現入試

問題 (45分)

- 注意
1. 開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
 2. 答えは、解答用紙の解答らんにはっきりと書きなさい。
 3. 解答用紙に受験番号と氏名を書きなさい。
 4. 終わりの合図があったら、とちゅうでもやめなさい。

実践女子学園中学校

次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。(会話のとちゅうに問題があります。)

児童：最近、「ジェンダー」ということばを知りました。ジェンダーとはどのようなものなのでしょうか。

先生：ジェンダーとは、社会的・文化的性差のことです。社会では、「女性だからこうあるべき」「男性だからこうあるべき」など、ジェンダーによって外見や行動、^{やくわり}役割などが決められることもあります。

児童：「こうあるべき」といった考え方は、具体的にはどのような場面で表れるものなのでしょうか。

先生：職業を選ぶ際に表れることがあります。例として、2020年における

ア日本のバスの運転者数を示した資料1を見てみましょう。

児童：男性がとても多いことがわかりますね。

先生：そうですね。「運転するのは男性」と多くの人が思っているから、バスの運転手さんに男性が多いのではないのでしょうか。「運転するのは男性」といった男性や女性に対するイメージは、イジェンダーステレオタイプ^{*}とよばれていますよ。

※ステレオタイプ…多くの人が^{にんしき}認識している固定観念や思いこみ。

資料1 バスの運転者数

	人数(人)
男性	123,358
女性	1,962

(日本バス協会資料から作成)

問1 会話文中の下線部アについて、資料1を参考に、2020年の日本のバスの運転者数について次の各問いに答えなさい。

- (1) バスの運転者数の合計人数を答えなさい。
- (2) 男性の運転者数は、女性の運転者数の約何倍ですか。小数第一位を^{ししやごにゆう}四捨五入して答えなさい。
- (3) 女性の運転者数は、全体の運転者数の約何%ですか。小数第二位を四捨五入して答えなさい。

問2 会話文中の下線部イについて、あなたの周りのジェンダーステレオタイプの例を、本文中にあるもの以外で、「～は女性」または「～は男性」という形式で一つ書きなさい。また、そのジェンダーステレオタイプによってどのような問題が生まれるのか、100字以上で説明しなさい。

児童：多くの人が男性や女性に対して思いこみをしているということですね。それらを社会から取り除くのは難しいと思いました。こういったジェンダーの問題についてどのような取り組みが行われているのでしょうか。

先生：2015年に国際連合の総会で定められたSDGs(持続可能な開発目標)では、目標のひとつとして「ジェンダー平等を実現しよう」という項目が挙げられています。これは、すべての女性と女の子に対する差別をなくすなど、男女平等を実現するための目標ですね。世界経済フォーラムという団体は、「ジェンダー・ギャップ指数」というのを毎年公表しています。

児童：「ジェンダー・ギャップ指数」とはどのようなものなのでしょうか。

先生：政治、経済、教育、健康の4つの項目における、男性に対する女性の割合を示したものです。例えば、ある項目について男性100人に対して女性も100人であれば、ジェンダー・ギャップ指数は1になります。これは男女平等が完全に実現されている状態を指します。しかし、男性100人に対して女性が50人であればジェンダー・ギャップ指数は0.5になりますから、男女平等が実現していないことを指します。0に近ければ近いほど、男女が不平等であるということですね。

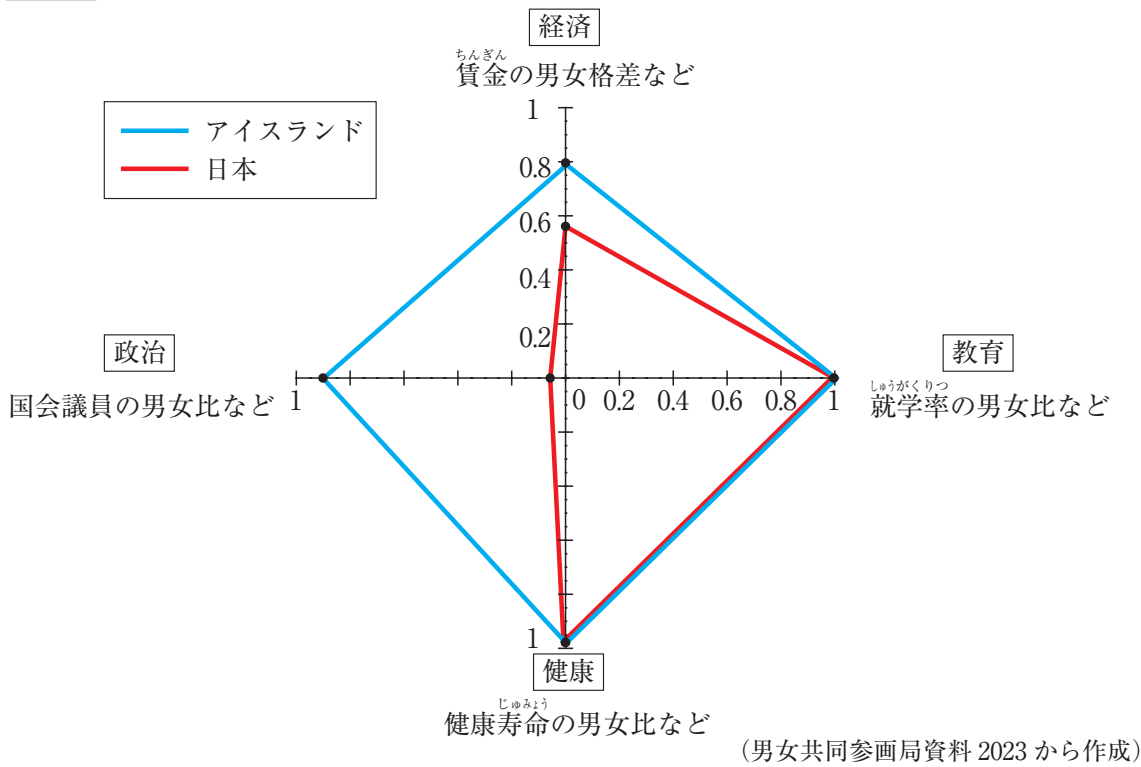
児童：ジェンダー・ギャップ指数は国ごとに公表されているのですか。

先生：その通りです。2023年は146か国のジェンダー・ギャップ指数が公表されました。その146か国の中には日本も^{ふく}含まれていて、日本は146か国中125位でした。

児童：日本は順位が低いのですね。男女平等が実現されていないということでしょうか。

先生：ウ日本のジェンダー・ギャップ指数にはある特徴^{とくちゆう}があります。では、1位のアイスランドと比較した資料2を見て、その特徴について考えてみましょう。

資料2 日本とアイスランドのジェンダー・ギャップ指数の比較



問3 会話文中の下線部ウについて、日本とアイスランドのジェンダー・ギャップ指数を比べてわかることを少なくとも2つ挙げて、日本のジェンダー・ギャップ指数の特徴について、50字以上で説明しなさい。

児童：アイスランドのようにジェンダー・ギャップがほとんどない国もありますが、ジェンダーの問題は世界的にも重要な問題ですね。

先生：そうですね。最近ではスポーツにおけるジェンダーの問題が話題となっていますよ。

児童：スポーツにおけるジェンダーの問題とはどのようなものでしょうか。

先生：競技の指導者やリーダーに男性が多いことや、プロスポーツにおける優勝賞金や賃金の差などが挙げられます。また、男性と女性とでは、メディアでの取り扱われ方にも差があることがありますね。

児童：なるほど。男女の体力の差などでちがいがあのかもしれませんが、男女平等の点から考えると確かに不平等ですね。

先生：そうですね。また、トランスジェンダー(資料3参照)のことも考えなくてははいけません。2021年に開かれた東京オリンピックでは、体の性別が男性のトランスジェンダーの選手が女子の代表補欠に初めて選ばれたことが話題となりました。また、ニュージーランドのトランスジェンダーの選手が実際に代表選手として大会に出場した例もあります。

資料3 トランスジェンダーとは

生まれたときの体の性別と、自分が感じる性別がちがう人たちのことを指す。例えば、自分は男の子として生まれたのに女の子だと感じる人のことである。

児童：トランスジェンダーの人たちも含めて、平等を実現したのですね。とても良い例だと思います。

先生：しかし、工一部では不平等だという声も上がっています。このことについて考えてみましょう。

問4 会話文中の下線部工について、次の各問いに答えなさい。

- (1) トランスジェンダーの選手が大会に出場することについて、どのような点が不平等だと思いますか。50字以上で説明しなさい。
- (2) (1)の不平等を解消して、平等なスポーツの大会にするために必要だと考えることとその理由を、100字以上で説明しなさい。

